

連合東京 2024 新春のつどい 会長挨拶

2024 年 1 月 9 日
会長 齊藤 千秋

2024 年の新たな年を迎え、主催者を代表してご挨拶を申し上げます。

冒頭、全員で黙とうを捧げましたが、新年早々から能登半島地震や航空機事故、北九州の火災などが発生しました。改めて災害に対する日頃からの備えの重要性を痛感するとともに、3 万人近い避難生活を強いられている方々にお見舞い申し上げ、不幸にもお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

また、この時にも復旧作業にあたっているすべての皆様に敬意を表したいと思っております。

本日は、ご来賓として、連合本部より芳野会長、東京都より小池知事、東京労働局より美濃局長をはじめ、多数の方々にご臨席頂いております。実に 4 年ぶりの対面・懇親を交えての新春のつどいを開催できますこと、被災地に思いを馳せながらも、日常生活を送っていることに感謝し、進行していきたいと思っております。

連合東京を代表し、今年の展望・思いについては、働き方、政治、組織拡大の 3 点に絞って述べ、新年のあいさつと致します。

昨年は、新型コロナウイルスの 5 類への移行後、社会経済活動が活発になり、インバウンド需要もコロナ以前の水準に回復していますが、私たち働く現場・職場の人手不足はほぼすべての産業に拡大しています。働き手の確保を行いながらも、労働人口が減少する社会を見据え、業務の省力化、無人化など、人がやるべき仕事を見極め、各種の助成金を活用し、生産性の向上に努めていくことが必要と考えています。

また、働き方の見直しについては、昨年末、ランボルギーニ社が現業職場の週休 3 日制の導入を労働組合と暫定合意、ヨーロッパではテレワークと対面のハイブリッド型勤務が定着しているというニュースを見ました。日本では、コロナ禍で定着したテレワークを継続している人は 15%程度にとどまっています。何か理由がないと、テレワークし難い環境に戻っているかもしれません。人手不足解消策と長時間労働の是正、従業員の健康と満足度を向上し、働き方・働かせ方に工夫をしないと、労働力不足の中で世界競争に打ち勝っていくことができません。

また、今年 4 月からは、自動車運転業務や建設業、医師など労働時間の上限規制が始まります。事故のない安全な職場づくりのためには、十分な休息・休養が必要です。心身ともの健康と、ストレスの無い職場づくりを今年も推進していきたいと思っております。

一方、政治に目を転じれば、今年はアメリカ大統領選挙をはじめ、世界的に注目すべき選挙が行われます。日本では「政治と金」で年を越しましたが、与野党ともに国民の信頼を得ているとは言い難い状況です。言い換えれば、政治が私たちの暮らしを良くするものとして機能していないということです。

選挙や自分の事ばかり考えるのではなく、物価高で苦しい生活を強いられている人のために、日本が持続的に発展していくための産業創造のために、汗かく政治家を私たちが育て支えていかなくてはなりません。

連合東京は引き続き人物本位で、真にまじめに働く人のための政治ができる人

を応援し、東京から日本を変えていきたいと思いをします。

また、組織拡大については、年末に発表となりました昨年6月末現在の連合東京組合員数は、昨年と同様の125万人となりましたが、産別加盟していない労組が東京都内には2,683組織、約966万人の組合員がいます。街宣行動やSNSの活用などで産別運動や連合運動についての発信力を高め、すべての働く人のための運動を展開する仲間を増やす不断の努力が必要です。

2024 春闘の賃上げで結果を出し、東京都と進めているカスタマーハラスメント防止対策をはじめ、政策制度実現の取り組みで成果を上げ、労働組合の社会的存在価値と意義を高めていきたいと思いをします。

むすびにあたり、2024年は辰年、甲辰(きのえたつ)の年は「春の日差しがあまねく成長を助ける年」になると言われています。

光がすべての人に注がれ、一人ひとりの挑戦と成長が促される一年になること、そして、被災地が一日も早く日常を取り戻すことを祈念するとともに、連合東京として復興復旧にフルマックスで支援していくことを申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

以 上